

## 意見交換会 参加者一覧

## 地域づくり

No.	氏名	所属等	活動内容等	役割
1	 對馬 俊晴 (つしま としはる)	福島県立福島高等学校 教頭	福島県原町市(現:南相馬市)出身。これまで、県立高校教員として、文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」、UNESCO「持続可能な開発のための教育(ESD)、ユネスコスクール」、OECD・文部科学省・福島大学主催「OECD東北スクール」等の教育プロジェクトを担当した。東日本大震災後は、ふたば未来学園高校にて「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」での課題解決型学習(PBL)等の研究開発を行った。現在は、SSH指定14年目の福島高校教頭(3年目)として今般の大学入試改革への対策や同校カリキュラムマネジメントに携わっている。	ファシリテーター
2	 下枝 浩徳 (したえだ ひろのり)	(一社)葛力創造舎 代表理事	福島県葛尾村出身。東京電機大学、東京電機大学大学院にて地盤工学を学び、海外で井戸掘削を行う一般企業に勤務する。その後福島にUターンし国会議員秘書を経て2012年に一般社団法人葛力創造舎を設立。得意技は「井戸を掘る」 2012年に任意団体葛力創造舎を設立後、2013年に一般社団法人登記。葛尾村を次世代につないでいくために、コミュニティづくりに取り組む。	ミニプレゼン登壇者 &意見交換参加者
3	 小松 理虔 (こまつ りけん)	地域活動家	1979年いわき市小名浜生まれ。ローカルアクティビスト。法政大学卒業後福島テレビ報道部記者を経て中国・上海へ移住。2009年に帰国し地元で活動をスタート。いわき市小名浜でオルタナティブスペース「UDOK」を主宰しつつ、いわき海洋調べ隊「うみラボ」では、有志とともに定期的に福島第一原発沖の海洋調査を開催。そのほか、フリーランスの立場で地域の食や医療、福祉など、さまざまな分野の企画や情報発信に携わる。	ミニプレゼン登壇者 &意見交換参加者
4	 マクマイケル ウィリアム	福島大学国際交流センター副センター長	カナダ・バンクーバー出身。2007年に国際交流員として福島県に来日。2010年からは国立大学法人福島大学に採用され、国際交流センターの設立に携わるなど、全学の国際推進に貢献。震災後は海外への福島の情報発信や、風評被害の払拭及び世界と福島をつなげるグローバル人材育成のための教育プログラムの設計に尽力。2012年6月には多文化混住型復興プログラム「Fukushima Ambassadors Program」を設立した。自他共に認める「カナダ人の福島ファン」として、これまで海外から述べ400名以上の留学生や研究者を福島に招聘し、福島第一原子力発電所の視察を含む県内各地での共同フィールドワークを通して、福島の課題が世界に正しく認識されるための啓蒙活動を続けている。	意見交換参加者
5	 菅原 祐樹 (すがはら ゆうき)	大熊町役場 企画調整課 課長補佐	大熊町出身 平成13年4月 大熊町役場へ入職 平成22年4月 (財)福島県原子力広報協会出向 平成23年3月 東日本大震災により避難 平成23年4月 会津若松市出張所で勤務 令和元年5月 大熊町役場本庁舎で勤務 令和2年3月より「浜通りの青年が中心となって地域連携を実現し、その和(輪)を広げながら持続的な地域発展を目指す」活動を行う団体『HAMADOORI 13』へ参加	意見交換参加者
6	 佐藤 哲也 (さとう てつや)	Helvetica Design 株式会社 代表	福島県須賀川市出身。震災をきっかけに2011年8月にヘルベチカデザイン株式会社を設立。「方言とデザイン」をコンセプトにその地域にしか無い土地の匂いや人の気配がするようなクリエイティブを目指し、手掛けたデザインはグッドデザイン賞など数多くのアワードを受賞している。また、温泉宿や地域のリブランディングでは、外国人旅行者(インバウンド)の増加につなげるなど、地域コミュニティデザインやエリアリノベーションの分野でも活動中。2018年には一般社団法人ブルーバードを立ち上げ、郡山を中心にまちづくりにも取り組んでいる。	意見交換参加者
7	 渡部 南 (わたなべ みなみ)	厩舎みちくさ 代表	広島県広島市出身、高校卒業後、日本中競馬会馬事公苑にて全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬指導者養成教育を修了後関東で乗馬インストラクターとして働く。2011年東日本大震災を機に被災馬、警戒区域からの搬出馬を支援したNPO法人引退馬協会より現地スタッフとして南相馬に派遣。それを機に自らも被災馬を引き取り、東北に移住。2016年8月避難指示の解除と共に小高区の牛舎を借りて乗馬牧場「厩舎みちくさ」を開業する。馬の為にある馬の為の場所。ホースファーストをモットーに運営しています。	意見交換参加者
8	 青砥 和希 (あおと かずき)	(一社)未来の準備室 理事長	一般社団法人 未来の準備室 理事長。1991年福島県矢祭町生まれ。2013年、東京在住の福島県出身大学生が組織する団体Shirakawa Weekに参画、大学のない地域の課題解決に取り組む。首都大学東京大学院在籍中の2015年に白河市にUターン、高校生のためのサードプレイス「コミュニティ・カフェ EMANON」を設立。以来、カフェを拠点として高校生の地域活動を支援。2020年に民泊施設「ゲストハウス ブラン」を開業。国家資格キャリアコンサルタント。第7次福島県福島県教育総合計画策定に関する懇談会委員。	意見交換参加者